

日本教育技術学会 論文投稿規程

(2016 年 10 月 1 日より適用)

日本教育技術学会
研究紀要編集委員会

1. 投稿資格

本学会に論文投稿ができるのは、学会員のみとする。(ただし、編集委員から依頼された場合はこの限りではない。)

2. 投稿論文の要件

投稿論文は、本学会の目的に寄与するもので、未発表のものに限る。

3. 著作権

掲載論文の著作権は、日本教育技術学会に属するものとする。

4. 原稿枚数及び論文の体裁

(1) 用紙

用紙はA4判・縦置き・横書きとし、40字×40行の1段組とする。余白は、上下左右とも30ミリとする。

(2) 原稿枚数

原稿は図表を含め、原著論文、実践報告、総説、資料いずれも原則4～16ページとする。

(3) 表題、所属等

・論文1ページ目に和文要旨(300～400字以内)をつけること。また、原著論文、実践報告、総説、資料いずれも3～4語程度のキーワードを付けること。

【記載例】

キーワード：学級経営、特別支援、ICT教材

・著者が複数の場合は、第一執筆者の氏名に○をつけて明示すること。

【記載例】

○田中太郎 山田花子 佐藤次郎

・論文中(注記・文献含む)に著者本人の著による文献等を表記する際、著者名は「筆者」「拙稿」等とせず、著者本人の名で表記する。

・表題中に(1)(その1)等の続報論文を想定する旨の表記は行わない。

(4) 文字数等

・原稿はA4用紙40字×40行で印刷し、各ページに番号を振ること。

・章の番号はローマ数字(I、II…)、節の番号はアラビア数字(1、2…)、項は右括弧つきアラビア数字(1)、2)…)とする。

・文字の大きさは原則10.5ポイントとする。見出しはゴシック体、本文は明朝体とする。

・本文は、書き出し及び改行後の書き出し部分を1コマ空け、句点は「。」読点は「、」とする。

・2桁以上の数字は半角文字、アルファベットは半角を基本とする。

・カタカナは全角とする。

5. 文献の記載方法

文献は、「参考文献」と「引用文献」の区別はせず、一括して「文献」として扱う。文献の記載方法は以下の例に従うこと。また、著者が複数の場合は、3名以上の場合は筆頭著者「ほか○名」と略してもよい。その際、著者名と著者名の間はカンマ「、」でつなぐ。

<雑誌論文の場合>

著者名(発行年)「論文表題」掲載雑誌名巻(号)発行年月日 ページ数

【記載例】

向山洋一 (2001)「向山型説明文指導の極意 学習院大学言語技術教育学会十数歩を歩きながら組み立てた授業」向山型国語教え方教室 2001 年 4 月号 P5 - 6

<著書の場合>

著者名 (発行年)『書名』出版社・発行所名 ページ数

【記載例】

向山洋一 (2009)『新訂 教育技術入門』明治図書 P18-19

<Web サイトの場合>

著者名：Web ページのタイトル、Web サイトの名称、更新日付、URL、(最終閲覧日)

6. インターネット上の情報の引用

インターネット上の情報を引用する場合には、その出典を明記するとともに、Web 上からの削除が予想されるので、必要に応じてコピーをとって保管し、編集委員会からの請求があった場合、速やかに提出ができるようにしておくこと。

7. 査読

原著論文、実践報告、総説、資料とも編集委員会による査読を行い、採否の決定を行う。その過程で論文の構成や内容に修正を求めることがある。

8. 編集委員会の構成

編集委員会は公平に選抜された有識者で構成する。

9. 審査方法

審査は、有識者 2 名を査読者として指名し、執筆者と査読者の所属氏名はお互いに公開しないダブルブラインド方式にて行う。

10. 論文の訂正・再提出

編集委員会から投稿論文の訂正を求められた場合には、返送された日から 1 ヶ月以内に再提出する。この期間を超えた場合には新たに投稿されたものとして受付けをする。

11. 論文の変更制限

受理された論文は編集委員会が訂正を求めた箇所以外に編集委員会の承諾なしに変更をしてはならない。なお、編集委員会が要求する場合には、提出した論文に関する電子ファイル（画像ファイル、テキストファイル）を送付する。

12. 電子ファイルの提出

採択が決定した時点で電子媒体に記録した電子ファイルを再度送ること。

13. 論文提出方法

論文提出の際は、Word・PDF の両方のデータを下記リンク先より送付する。

<https://forms.gle/jUVDdhTRAMp8AGpb8>